



京二重

如

特別
ル4
3771
5



北生
3771
5

京好二重卷五月詠

神社

初日 伊勢所宮
 二日 加茂上下
 三日 平野
 四日 春日 吉田
 五日 祇園 善徳
 六日 神靈 上中下
 七日 蘇林
 八日 今文
 九日 貴布衣
 十日 今文
 十一日 今文
 十二日 離文
 十三日 神所
 十四日 石清水八幡
 十五日 松尾 并出儀不
 十六日 吉田
 十七日 同社 大森
 十八日 稲荷 同出儀不
 十九日 天海
 二十日 梅文
 二十一日 八神殿
 二十二日 神香文
 二十三日 七野社
 二十四日 今文
 二十五日 今文
 二十六日 神所八幡

昭和三十六年
二月十三日
贈求

八幡宮 惣
十一日

立奈天神
十一日

野ノ宮
十一日

聖韓神
十一日

新玉津馮
十一日

娘大内神
十一日

中夜文神
十一日

保津社
十一日

地皇社
十一日

大文權現
十一日

八王子子
十一日

財文
十一日

御心神
十一日

洞社 虫目寺
十一日

向日明神
十一日

金札文
十一日

諏訪大内神
十一日

宇治雄文
十一日

田原社
十一日

大田原社
十一日

石津社
十一日

坂本昌社
十一日

林系忠社
十一日

出雲大内神
十一日

新田吉
十一日

小野守社
十一日

江文社
十一日

赤山大権現
十一日

木幡社
十一日

福大内神
十一日

稻荷荒社
十一日

日降社
十一日

福王子
十一日

牛黄社
十一日

野ノ宮
十一日

岩本社
十一日

六文権現
十一日

老松明神
十一日

水天大神
十一日

勝子大明神
十一日

月讀社
十一日

清光大内神
十一日

木崎社
十一日

城南社
十一日

清養社
十一日

塩竈明神
十一日

神明社
十一日

惠王子
十一日

西靈明神
十一日

存院
十一日

橋中社
十一日

红梅社
十一日

白大文社
十一日

超子天社
十一日

三浦大内神
十一日

美津社
十一日

後成心天
 土佐宮之社
 日月西輪天
 大原社
 綾元大向神
 一言三神
 火打指魂
 燕比須美
 豊國大の神
 津彦美和社
 獲氏為春
 天道社
 秋夷社
 約之社
 立道真发
 本祿大の神
 七面大の神

京孫三子出と五月派終

神社

伊勢宮所宮

東山在田本社
後 須賀

内及家外天原の源あり在田
 流宗源唯此神道は内本
 知しとも心もやは外
 而く神の力神社と為清也
 又此に花々

内及く高仁天宮廿五年信姫
 の命天照大神まこと奉りて
 亦又と此に於川と云ふ
 と殊れ又又後還りて
 外宮八幡宮天宮二十二年豊受
 大神母の國を統の事
 伊勢國安奈山田乃
 口し神と又説天祖天神
 神也是則西常三子
 神宮

あり委を神社考未首々
石清水八幡宮

山城國久世郡男山
社領七十四石余

信和天皇御所は貞觀元年八月八日
大宰少輔の御所を遷すに奉り
の處に依りて山城の國男山鳩の
宮に遷すに御所と稱す天皇御所
なり御所より遷すに天皇御所
美内宿禰の信能也

美富

善法寺

志水

新法寺

山下

男山法寺

坊舎

中舎

板車坊

印殿

西舎

橋中坊

南舎

板車坊

入寺

中舎

横坊

西舎

男山坊

東舎

梅中坊

同

橋坊

中舎坊舎

新坊

橋井坊

椿坊

祝坊

西舎坊舎

法童坊

奥坊

辻坊

南舎坊舎

豊後坊

中坊

菊の坊

文園坊

東舎坊舎

橋中坊

園分坊

梅坊

井園坊

泉坊

遊舟坊

文書坊

新坊

車坊

常任坊

福仙坊

堂二坊

小舎坊舎

下坊

稜桐坊 塔坊 萩坊
角坊 松坊 門口坊
多坊 大西坊 要中坊
上坊

須賀社 山城國石室郡
小山道原

社領 上賀茂社二百七十五石余
下賀茂社五百四十五石余

之賀茂社は別雷白と大神天
神代のしんごさるこのそと久し神
初遇実智と物て三股より
ひの雷社と云わたり日な
神は健角今の娘が茂川小
て白羽のまひるを感し
と産むる娘は玉依姫下賀茂
神祖は林是也白羽乃久は
此乃天照神也と云ふ子
賀茂別雷社也と云ふ

上賀茂神司 下賀茂神司

同社者 同社者

下賀茂神司 利木下賀茂

浪舌根理

松尾社 山城葛野郡
松尾里二社

社領九百三十五石余

本社東向賀茂乃玉依姫乃
丹塗其美化して神に
力尾天の神也下賀茂天
白神宮大室元々祭神
建立して号大山鳴神以敷
日吉社一社也

社家

松尾神懸 松尾村洗 松尾亮

同宮内 同友進 同主税

同氏部 同宮内

招宮誌 招宮真人

神方

出宮之役 出宮刑部 山田右京
同左左衛門 同宗女 同左衛門
同左衛門 同掃部 同左京
同木下 同左衛門 同将監
同左衛門 同左衛門 同左衛門
同左衛門 同造酒 同右近
同左衛門 同左衛門 同左衛門
中田右近 小村常切 小石寺

松尾神社 七十余米

社領百四十五石

栗野社

社領百四十五石 山城葛野郡栗野

社領九十石余

植民未分 延曆年中始造 遺蹟
負秋人 中 及 宗祀 以 此 社 也
姓 祖 神 也
第一 伊保 氏 神 也 景 川 氏 也 中
子 自 伊 保 氏 源 氏 乃 神 也 中
第一 伊保 氏 神 也 伊 保 氏 乃 神 也
第二 古 園 神 也 伊 保 氏 乃 神 也
第三 伊 保 氏 神 也 伊 保 氏 乃 神 也
第四 伊 保 氏 神 也 伊 保 氏 乃 神 也
第五 伊 保 氏 神 也 伊 保 氏 乃 神 也
第六 伊 保 氏 神 也 伊 保 氏 乃 神 也
第七 伊 保 氏 神 也 伊 保 氏 乃 神 也
第八 伊 保 氏 神 也 伊 保 氏 乃 神 也
第九 伊 保 氏 神 也 伊 保 氏 乃 神 也
第十 伊 保 氏 神 也 伊 保 氏 乃 神 也
陳 氏 乃 神 也 伊 保 氏 乃 神 也

社家

中西左京 陰原之 伊保氏

吉田社

山城右衛門 神樂

社領五百九十石

本社南向八角建春日の御神
 の御神也夏初冬中
 為山蔭婦建五池一又全院
 永延年中始
 五方小本京
 社名京大東野
 博言言田神社
 也帝神乃
 一

教原負從殿 千石
 為合正四位下

吉田之東連殿 七百六十六石余
 為入正五位下

社家

大角國信 同志磨 大角利
 冷麻路 同淡路 田内光

田口季子 山田信織

春日社

右同所小方

社領十二石

弟一武雷令 又武見神 康治
 弟二武見令 又武見神 香取
 弟三武見令 又武見神

中田姫大神 天照大神分也
 神護景雲三年常陸國鹿嶋
 卜り麻又常て大和云三山
 入るる

同社

山城國乙訓郡
 大鹿野

社領十二石

桓成天皇自奈良以京と也是
 遷上なるひきり付三山春
 日大御神ハ内裏三行とて右妃
 の末孫御所なり山内初孫也

アノノトモ也 毎清雨尾左大臣
冬嗣也

祇園社 山城國中尾郡
八坂婦

社領百四十石余

清和天皇御身觀年中、龍宣の
コトありて、尾別は鴻の祇園を牛
引と云ふ所(勅)は、コトコト
靈堂を建てる精舎
第一社アリ、南に龍宣御身御
殿天皇御身、本地茶師也
第二社西の面、龍田也、俗に井
トコリを建てる、本年は神と
云、乞使柳女カケリ
第三社東向、八坂大蛇を巨目、
此、龍也、蛇、毒鬼神トコリ、
此、コトコト、村、老人、今、神トコリ、
鬼門アリ也

社家

狂勢勢
新藤院 神福院 宝光院
竹ノ坊 東梅坊 西梅坊
目新坊 松坊 口ノ坊中
新藤院 友登堂 伊豆堂
桂田山ノ坊 桂田五系 桂田合堂
白井ノ系 桂田五系 友登坊
約平坊 友登系 山ノ系
祇園神旅所 末の通四系也

神ノ 友井ノ系

稲荷社 山城國木井郡
五社鎮座

社領百六十石

元明天皇此和御年中、此神始
て現、伊奈利山、コトコト、
海東寺と建立也、門外小

て編み 爲つる 爲三を 爲て 爲近
 の 爲と 爲と 爲と 爲と 爲と 爲と
 爲一 爲二 爲三 爲四 爲五 爲六
 爲七 爲八 爲九 爲十 爲十一 爲十二
 爲十三 爲十四 爲十五 爲十六 爲十七 爲十八
 爲十九 爲二十 爲二十一 爲二十二 爲二十三 爲二十四
 爲二十五 爲二十六 爲二十七 爲二十八 爲二十九 爲三十

社名

松平水 松平水 松平水
 大西夜分 松平水 松平水
 羽金五枝 松平水 松平水
 森出雲 東が加久 松平水

稿之御旅所

神主 右京直亮

神聖宮

上座並 室所通十次所系入
 中座並 寺所通十次所系入
 下座並 寺所通十次所系入

社領上御靈 九十石余

社領下御靈 貳石余

桓武天皇御宇 早良太子并社内
 親王 靈乃口とあり 念ひ
 氏もひし 地敷人 而 妻 子
 之け八所と 社領 氏 子 子

中一 吉備聖靈

中二 宗道天皇 早良親王也

中三 伴豫親王 早良の母也

中四 藤原大夫人 伴子親王の母也

中五 橘大夫人 順貞の母也

中六 藤原大夫人 大平の母也

中七 文ノ大夫人 文ノの母也

中八 大雷天神 菅相の母也

右八所是上御靈 二十石下御靈

二一社也中伊美八御尊下足妙
五社ハ安茂川大洪水ノ事ニ
西ノ界ニ付川乃モ二社并ニ

上野具

下野具
板垣氏部

天徳宮

水野右近馬場

社領五百八十石余

天曆元年乙亥相承此社靈並
は下ノ社福也又茶屋院天
慶二年七月二十七日坊ノ女
ト立リ社女神靈並ニテ心道
馬場ノ住アリト也依テ立
ト之ハ別以良の社宜良種
純宣ニテ小社ニ奉ル内ニ
の社ト生々人社ト天徳大自在
天社ト云々ト也依テ社領

の家林伊那ト又子ノ所ト合
靈並ノ物ト立又天徳三ノ社
為師補法ト云遠

社司

柳屋奉行 社家洞官
松梅院 徳勝院 妙善院

友森社

山崎圃紀伊那
深草ノ宮

社領貳百石

天長天徳ノ神子ニ不舎人親三
ノ靈也トテ勅トテ崇道也
主神ト云号アリ稱座天徳ノ神
讚慶也ト年中ト造堂

社家

赤松氏民部 浅川隼人 赤梅水
赤松大京 赤松氏 赤松氏
寺田氏大史

梅宮

山城國葛野郡
梅津里

社領五十五石

長和年中此勸修四所仁明天
皇母后橋氏の御神也橋氏后
為贈大政大臣正一位橋氏清成
御孫諸兄より御孫孫孫孫孫孫
は神下所入所と云はるる下所
必年産力わたりて名を御下と云

社名

梅津宋女 梅津元宗 梅津行実

今更社

山城國葛野郡
業野

夏多院正暦五年乙卯甲辰庚午
此更今更と申是よりつるより保
三年乙卯一辰庚辰卯辰辰辰
よりて此所より社と立梅馬といふ
夫より号し御霊命とて下所といふ

白鳥乃其

白鳥乃其よりつるよりつるより

右近

八神殿

吉田神社
法所八社

- 依大向夷吉公命勸請
- 才一 神白産霊目神
- 才二 高白産霊目神
- 才三 玉白産霊目神
- 才四 生白産霊目神
- 才五 提白産霊目神
- 才六 大宮賣神
- 才七 和合神
- 才八 事代主神

貴布禰社

山城國葛野郡
鞍馬山麓

社領十一石九斗余

此神神代卷の附記に云ふに今
十握乃祖より火の神初遇実者
と折る三握より一握高露
とあるり則ち此布初神
雨と云ふる事と云ふに神
と折る也別々此社の傍に
建ち居る應神宮也

伊香宮

山崎園木井部
伏見ノ里

社領三百石

伊神社神代卷云此は伊香之南化
帝乃神乃孫長宿禰の
乃神娘として仲哀天皇此神石
夜神天皇此神母也能三韓と
亦云々之疑余云此神代卷云天
下とおもふもたふす事二十九の
神事二百家と云々

熊野権現

山城園木井部
今熊野

此神代白川に白河勸修堂
正神於志山新文
崇神帝六十五年始建熊野本宮
系の帝五十八年建新文の
紀伊國牟婁郡熊野早玉神
社下依之以速玉男事解男
侍無此之神乃為熊野之所
権現ト云

七野社

別當 竹土坊
徳陽安岳院
千上ノ東
早良美春日大明神のよ

七井ありて此社にて祭る也神方なる

神主 奥田石道

離天八幡

山深四し訓部
山崎

社領七百石余

清和天皇貞觀元年十月八日石

清水と同時に移りて今も

社領 年々上りて

若宮八幡

洛陽五条橋東

社領八十石

後冷泉院天長九年依勅六条

伏見牛子兼親勸誘洛陽米之切定

社領 三内

佛所八幡

三条坊うまの所
通西入所

光明院康永三年勸請三條

万里小治原保子氏將軍余

兼寺に建立す号智持寺

別当 吉祥院

八幡宮

洛北山崎村

社領四石

五所八幡

京橋北田中

後柏原院大永年中勸請

山城京橋北

洛陽五条橋西詰

八幡文

社領 長目寺

京通西四院前

五条天神

此所神主本寺林神高僧寺

魂もろの神子か長名命也此

洛上原の平國にありて寺を蓋

文書そのと神心と合日まの地外

と信ら改と定又諸業と化り其の
病者と金一災疫と撰り余
神と天子神臨乃所附の今もい
社と敷と掛りゆりや夜と掃
業と作りゆりや夜と掃
神一毎年第一金一夜は社業
作白おと責

向日大神

山城乙訓郡西尾
社領廿七石

は神神は天威神の子なり
一位或は月讀乃命と云り

神主 寺部伯耆

社領 神宮寺

四宮神

山城國乙訓郡
山科

は神神は太玉命の坐跡とて
天乃氏乃祖神也号諸羽大明

神十寛平十二年始ニ祭ル之ヲ

金札宮

伏見河内香芝の
境内法座

は神神は天津太玉神也

延喜式

延喜式云園神一府韓神一府
通二所

延喜式云園神一府韓神一府
通二所
は神神は天子神臨乃所附の今もい
社と敷と掛りゆりや夜と掃
業と作りゆりや夜と掃
神一毎年第一金一夜は社業
作白おと責

観音寺
安福院

諏訪大明神

信立条橋通下
室町と馬丸の
間

は洲神事代々の御子也
名之曰伊弉乃命天照大神能
以任言預訪為補佐也

東漸院

今本同院六角の所今院の裏

よいありてあはははと勧請せり

依りて所乃とよとよの所と云

新玉川

八所南側

教後成師勧請薩土の忠交

一宿乃地あり小社人々の裏に

い神神を名奉天白乃名と

て初通作の志誦也

龍宮

山城国の洛里

は神神の教原の忠文靈と勅

語り俗よ八幡と云い宮の
条に八幡乃橋と出でり

別当 長茶宗味

娘大明神

同所 清橋法向

は社橋作と号しふたの宮の
しより新大明神和名橋作

よ可く河川依と云に初あ

アと云

田原社

同所

伊弉乃命の志誦也

中夜明神

山城國の志誦也

大己貴神 伊弉乃命の志誦也

鞆神

大為軍社

西、京紙屋川

此神は石長姫の神也此神乃逢坂野史歸配近江の人は此神侶陽に三所ありて

一条北万室小洛東

大夏西七条小

高辻東洞院西

岩神社

法大夏通西
上三丘實乃北

後冷泉院永承五年始茶二条大夏西にありて六二条河津

乃南有と林小表三川表也庭石く成りに雲霞ありて八条

此大乃河津の茶と移りて此所は法皇より遷す此河津の

陸三神乳汁

石神社

法大夏通西
下三町西

此河津古從三位豐若志命

社傳 明王院

新信吉社

醒井通高辻三町
東南南角

神社考信吉乃神四神才一
天照太神才二宇佐内神才
三應筒男表筒中筒才四
神大夏西

社傳 千載院

茨太宮

五条坊通
西洞院東入

此の地は地味なるも古神舊
地なりともや亦茨太宮は下
とつり一歌花梅の記にあり

地蔵院

法大夏通西
法大夏通西

此に貴皇命の意疎也此先文
法大夏通西

飯沼神社

高辻通に在り 西へ入町下り

此神未現出下不祥と云ふ 地母故天女を忌み敬ふ

大宮権現

社傳 切徳院 俗に大宮通山ノ沢 大徳寺ノ山

此神ハ如來ノ末社ト云 月の申れ日奉る俗に大宮ノ

神樂志神

東山言田地

霹靂雷火神止

八丈王子文

俗に西木田口

目吉十禪師也俗に天正東陽府主忠尋勅修す

西天宮

俗陽大文安居院

面相承放うて陰陽此神也諸乳いのり論あり之ちすやうとも号する山動も此寺也

院主 雨之院

縣志

古一系北東の院也 今林不裏西方山馬道

此神ハ縣石乃除間外多所 後國此外支司いのり

出石之洛道社神

俗陽東橋水

朱雀院天慶二年始 奉祀之 稱神子 後川乃西一系の 山と出石之洛ト云ふハ氏家 此神ト云ふハ此社ト云ふハ 此社ト云ふハ此社ト云ふハ

鞠の神

中の門通西院

小社二月祭由^カ白紀氏の祭
三月年始^カ洗鞠始^カ用^カ件
の目^カ地^カ成道^カ歸^カ四^カ也
新日吉社 東山今^カ也

後白川法皇始^カ勅^カ法^カす^カ抑^カ比
御^カ神^カハ^カ松^カ尾^カの^カ大^カの^カ神^カ之^カ中^カの^カ神^カ
カ^カの^カ山^カ王^カ権^カ現^カを^カ破^カ城^カの^カ金^カ刺^カ
文^カ昂^カ位^カ元^カ年^カ一^カ天^カ下^カり^カ大^カ和^カ國^カ
破^カ城^カノ^カ上^カ拜^カ上^カ降^カて^カ大^カ三^カ輪^カノ^カ
神^カと^カ現^カと^カ大^カ付^カの^カ文^カ昂^カ位^カ元^カ
年^カに^カ老^カ存^カと^カ以^カて^カ多^カく^カ是^カ大^カ以^カ
教^カ乃^カ大^カ明^カ神^カあり^カと^カ傳^カる^カ大^カ師^カ天^カ
皇^カの^カ金^カ田^カ以^カ羅^カ神^カと^カ崇^カて^カ為^カ素^カ
盞^カ也^カと^カ言^カふ^カ白^カ山^カ王^カ以^カ日^カ吉^カの^カ
神^カ神^カと^カ江^カ州^カ坂^カ本^カ社^カは^カ是^カ也

山王

大宮権現

系^カ子^カ

二ノ宮

八王子

客人^カ人^カ

十^カ禰^カ師^カ

三ノ宮

中七^カ社^カ中^カ子^カ

大^カ新^カ本^カ

早^カ尾^カ

氣^カ比^カ

下^カ八^カ子^カ

王^カ子^カ又^カ

聖^カ女^カ

下^カ七^カ社^カ下^カ禰^カ師^カ

恵^カ王^カ子^カ

新^カ日^カ吉^カ

本地茶師

本地^カ教^カ也^カ

東^カ師^カ

十^カ年^カ觀^カ音^カ

土^カ面^カ觀^カ音^カ

地^カ茶^カ大^カ井^カ

普^カ賢^カ井^カ

大^カ風^カ遠^カ天^カ

昆^カ山^カ天^カ

不^カ動^カ也^カ

香^カ觀^カ音^カ

虛^カ空^カ藏^カ

文^カ殊^カ井^カ

必^カ音^カ輪^カ

保^カ勤^カ新^カ井^カ

聖^カ潔^カ的^カ王^カ

吉^カ祥^カ天^カ女^カ

文顯茶師
岳師也

白山神
三六也

白山神
三六也

岩瀨

弁戩天女

山末

大利益天

銀文

不動尊

大宮宮殿

大日女尊

聖真子宮殿

金剛聖白

二宮宮殿

日光月光

園内神

意坂山

峰在也草屋の辺あり深き石室あり
乃沖時良宗と宗貞和良ととあり
なりと云や海道化云峰丸八延
森才四乃白子也いなりい
と四のく大川原く云案云く
右も流時せり相違方く
つまじくは流かき人

岩瀨禿

比叡山林

白川院義暦年中に建つ三尊寺

傍正教裏末勅清ス

小野御霊

山味園小野左

惟高親王此末勅清ス

小野宮社

右目所也飯村

は下も流乃社く有く小野

道風の美と勅清ス

江文社

山城園大愿

余橋魂命と勅清ス

清瀨御神

山城玉腕御神

大宮青森の宮也空海
海朝乃時移醍醐山上宮座云

赤山権現

海小供堂村
素盞と云

慈光大師入角此は登列吉

の神祠といはれし勅請す
本鴻神 山姥園大素

花園院文保三年現山姥園
野本云

本嶋神 日本嶋里

此神神八天皇太神の御子吾
勝も是亦天恩慈耳

塔南神 山姥も羽里

鳥羽院沖宮現神云々

福大の神 一条通徳
住古真実云々

此貫く靈也亦京極土御門
と勅請云々

清荒神 京都通徳云々
往古四院建云々

七頃六石余

中ち不動尊ありて天白宗
伐り神勅あり

稲荷荒神 院云々 常施寺
責上云々

塩竈の神 院云々 三寶寺
五条下寺所

一条院中融大菩薩等号六条河原
院下後破却云々

日陰神 出水通子云々
東入所

上古右道云々傷云々
搦紫乃神明下

神明社 栗田山山

神主 野々字本女

同社

綾波東洞院東
入町

社傳 正智坊

同社

姉落新町西倉

同

寶性院

同社

酒造五条上町

稱為日宮一洞

和光院

同社

魚町通五条上町

福王子宮

唱勝村

神々 弁但馬

惠王子宮

京極中京上

はやしろがらむ丸五条上町下几
町より左配ス

牛黄井社

六波羅が堂小
小社也

又傳水階の上社としんぎ院
勝乃社は能神が社権足なり也

海陽西

聖靈の神

しんぎ丸 惡靈現神 涼為義

入道乃子也

護國二尊院

野宮

南表乃内

伴勢女宮は金仁天皇の御時
より事おこりて倭姫の命よ
り始黒木の名居小末垣今
こま切こまくり有る

文院

下坂噴丸太町
東の入口右の方

十載集系物大政大臣あり
松とらむ小松のあり

岩女社

上野原社
東ノ方

有匠業平の古祠

橋本社

右日下橋より也

有匠實方といふ祠也

六文権現

通照心院

六文の靈廟官也

知毒殿

西ノ入天寺

老松の神

白土神社

常盤屋の神社

是は筑紫少く芳相とて

ありしなりし海人と相も是

船宮

小舟神社内

是一軒の船に在りし千代松と相也

文子天神

小舟大船軍持社
の多小社也

水天天神

河川通の上天
天神の社

三徳大の神

大佛僧堂の
左小松若

晴子天神

西山ありし山

雨の宮

表山

月讀大の神

松尾下山田

美御前

後手社内

神主 極田合

後成社

松本通馬丸
入町

淨法貴下社

かみや七ヶ系
祇園のり所
西がし

土伏宮の社

社傳
寶生院
四糸寺町沖
根下

は社毎の十月廿日抄文拂
とくは甲法人群集ス

藤氏村

祇園社内

天道社

無名町通十糸角
号御月本福民

同社

社人
の延佛光寺通
武村寺之史

大愿社

後小浜宮所内入
小く西がし

根夷社

松本通馬丸前

後成社

南福寺法も

祇園社

下久世村

一言社

後成社

五道真宮

後成社

火打指現

あしは後成社
四所目上

本宮大内

六角堂地

東法演文

建仁寺門前

以外教多は法所

室所四糸二所

七面明神

此の神は陽法花宗諸寺

に勧請す

大佛殿に在り

後陽成院慶長五年四月十六日

一過宮也古長久寺宮也

東野五巻坂

長服所

多居丸京屯取

長服所

谷出羽石

屋敷

三好備前守

西洞院東入町

尾列家老

屋敷

長住居

中より西へ

佐州より

三万二千石

丹波山家

名所通佛光寺上町

中山七江

村田新太

尾列大山

西洞院通四茶上町

中野市三茶

抄本
後田
備後
三万
吳服

京羽二重卷五終

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

